

2013年3月期 第2四半期決算説明会



2012年11月15日

ユニチカ株式会社

1. 2013年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2013年3月期通期業績予想

- ・2013年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・高分子事業の概要
- ・機能材事業の概要
- ・繊維事業の概要
- ・その他の概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

1. 2013年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2013年3月期通期業績予想

- ・2013年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・高分子事業の概要
- ・機能材事業の概要
- ・繊維事業の概要
- ・その他の概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

世界経済の減速などの影響を受け、需要が伸び悩み販売数量が減少し、減収。

高分子事業を中心に減益。

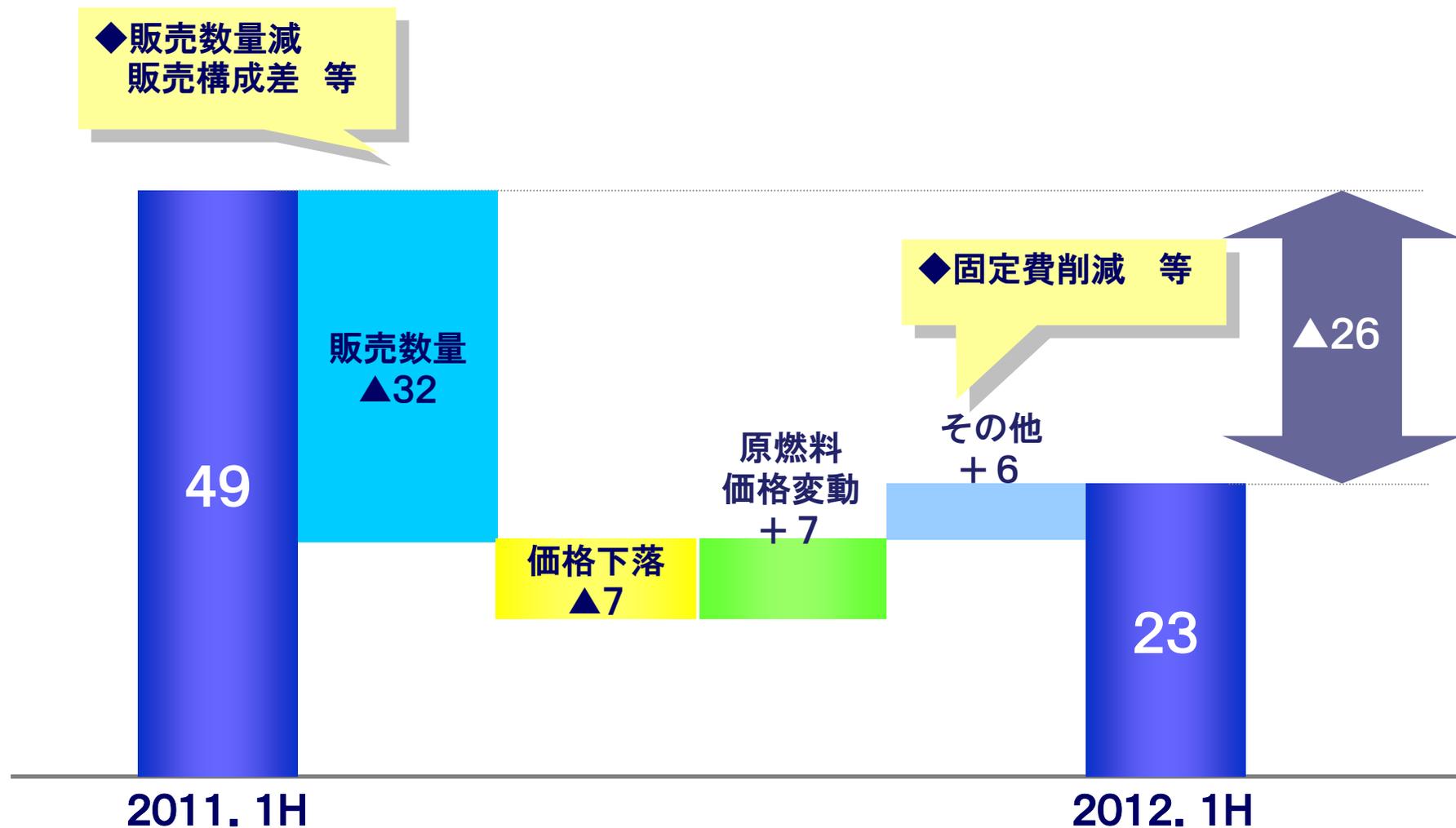
繰延税金資産取崩しにより、四半期純損失9億円。

連結合計 (金額単位:億円)	2011. 1H 実績	2012. 1H 実績	前年同期比	
			金額	率
売上高	871	762	▲109	▲13%
営業利益	49	23	▲26	▲53%
経常利益	26	5	▲21	▲81%
四半期純利益	10	▲9	▲20	—

セグメント別 (金額単位:億円)	2011. 1H 実績	2012. 1H 実績	前年同期比	
			金額	率
売上高	871	762	▲109	▲13%
高分子事業	354	306	▲48	▲14%
機能材事業	78	70	▲7	▲9%
繊維事業	381	329	▲52	▲14%
その他	59	57	▲2	▲3%
営業利益	49	23	▲26	▲53%
高分子事業	49	34	▲15	▲30%
機能材事業	8	5	▲3	▲42%
繊維事業	4	▲3	▲7	—
その他	▲1	2	3	—
消去・全社	▲12	▲14	▲2	—

営業利益変動要因分析

(金額単位: 億円)



(金額単位:億円)	2012年3月末	2012年9月末	増減
資産合計	2,685	2,717	+32
流動資産	1,084	1,121	+37
固定資産	1,601	1,596	▲5
負債合計	2,363	2,401	+39
純資産合計	322	315	▲7
株主資本	298	291	▲7
その他の包括利益累計額	▲12	▲10	+2
少数株主持分	37	35	▲2
有利子負債	1,732	1,801	+69
自己資本比率	10.6%	10.3%	▲0.3%

1. 2013年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2013年3月期通期業績予想

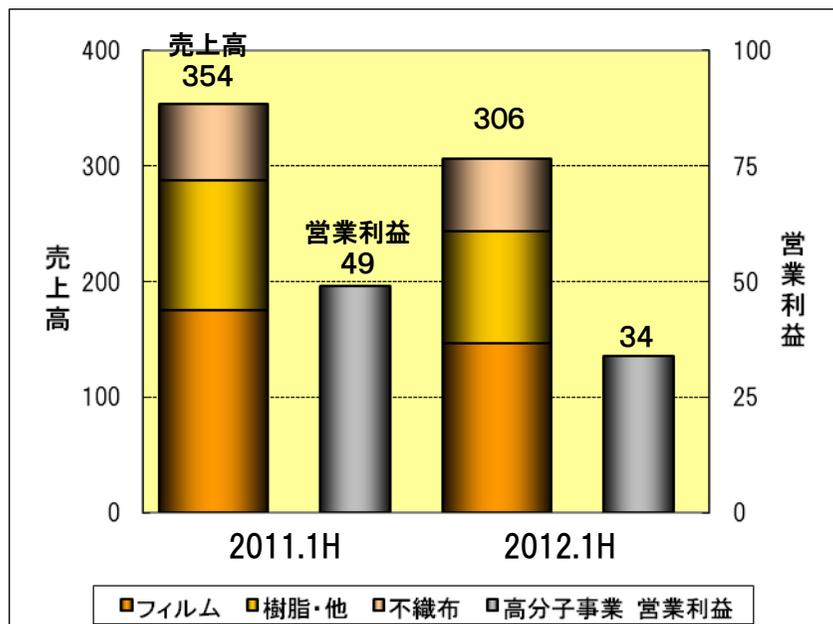
- ・2013年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・高分子事業の概要
- ・機能材事業の概要
- ・繊維事業の概要
- ・その他の概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

景気低迷の影響を受け減収減益、フィルムグローバル戦略体制構築などは進展

(金額単位:億円)	2011. 1H	2012. 1H	増減
高分子事業 売上高	354	306	▲48
フィルム	176	147	▲29
樹脂・他	112	97	▲15
不織布	66	62	▲4
高分子事業 営業利益	49	34	▲15



□フィルム 〔減収・減益〕

- ◆ 包装分野
国内の在庫調整局面からの回復は緩やかで販売数量が伸び悩み。
- ◆ 工業分野
情報端末機器の需要は回復基調も、全体では在庫調整により販売数量は伸び悩み。
- ◆ インドネシア新鋭3号機の体制構築は順調。

□樹脂・他 〔減収・減益〕

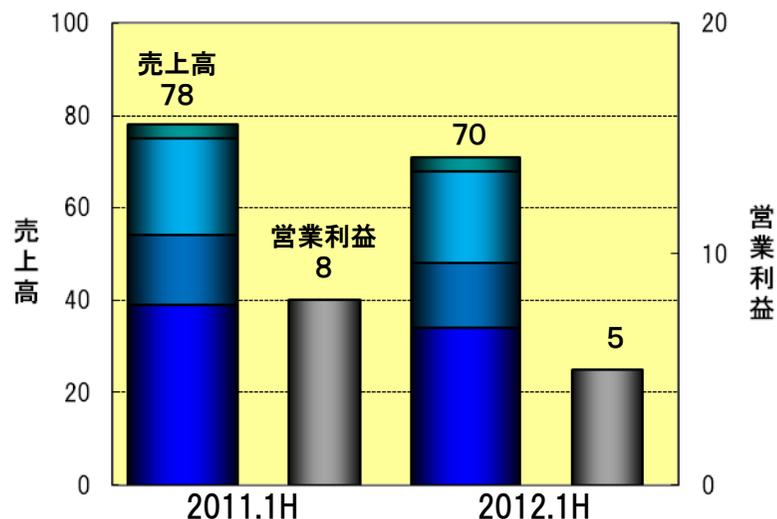
- ◆ ナイロンは自動車用途が堅調。
- ◆ ポリエステルは、電気・電子機器の接着剤用途で伸び悩み。
- ◆ ポリアリレート樹脂「Uポリマー」は、電気・電子機器用途、事務機器用途が低調に推移。
- ◆ 環境配慮型水性エマルジョン「アローベース」は新規用途展開が進展。

□不織布 〔減収・減益〕

- ◆ ポリエステルспанボンド
土木用途は伸長、カーペット用途は復調も、一般資材用途は低調に推移。輸出も伸び悩み。
- ◆ 綿спанレース
ウェットシート用途の在庫調整により販売数量減少。

ガラス繊維などで堅調な用途もあるが、電子材料分野などで苦戦

(金額単位:億円)	2011. 1H	2012. 1H	増減
機能材事業 売上高	78	70	▲7
ガラス繊維	39	34	▲5
ガラスビーズ関連	15	14	▲1
活性炭繊維関連	21	20	▲1
その他	3	3	▲1
機能材事業 営業利益	8	5	▲3



■ガラス繊維 ■ガラスビーズ関連 ■活性炭繊維関連
 ■その他 □機能材事業 営業利益

□機能材 〔減収・減益〕

◆ ガラス繊維・産業資材分野
 ビル・土木改修用途は堅調に推移。
 その他用途はやや低調。

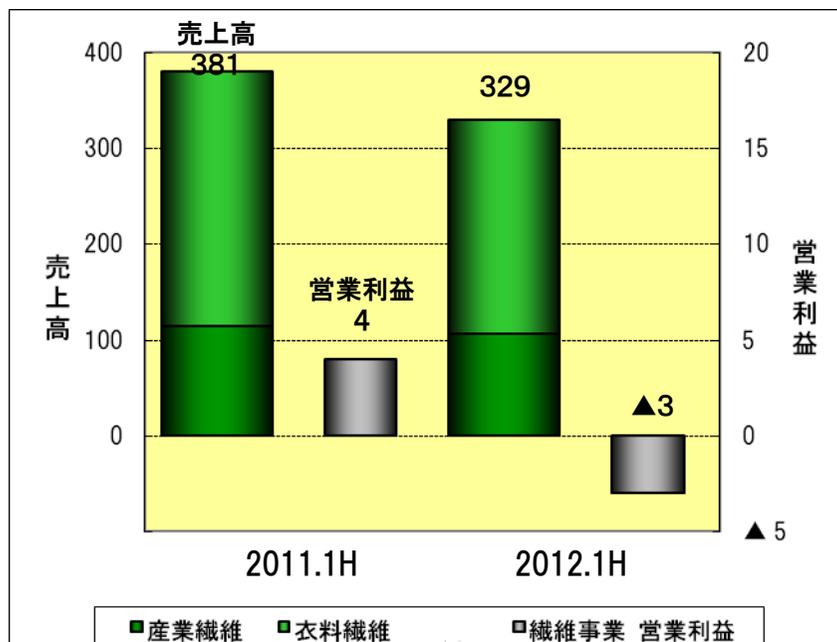
◆ ガラス繊維・電子材料分野
 ICクロス超薄物タイプの販売強化を行うも、市況の回復は低調で引き続き厳しい状況で推移。

◆ ガラスビーズ
 反射材用途は販売数量回復。工業用途の販売数量は前年同期並み。ロードマーキング用途は需要が低調に推移。

◆ 活性炭繊維
 水栓内蔵型などの浄水器用途は堅調。電気・電子分野で廃液処理用途は伸び悩み。

衣料繊維は概ね堅調、 産業繊維はポリエステル高強力糸の減速もあり苦戦

(金額単位:億円)	2011.1H	2012.1H	増減
繊維事業 売上高	381	329	▲52
産業繊維	114	106	▲8
衣料繊維	266	223	▲44
繊維事業 営業利益	4	▲3	▲7



□ 繊維
[減収・減益]

◆ 産業繊維

ポリエステル高強力糸は、主力の建築・土木用途が低調。

ポリエステル短繊維は、輸入品との価格競争にさらされ苦戦。

ビニロン繊維は、アスベスト代替FRCが欧州市況の低迷を受け、新興国開拓も採算面で苦戦。

◆ 衣料繊維

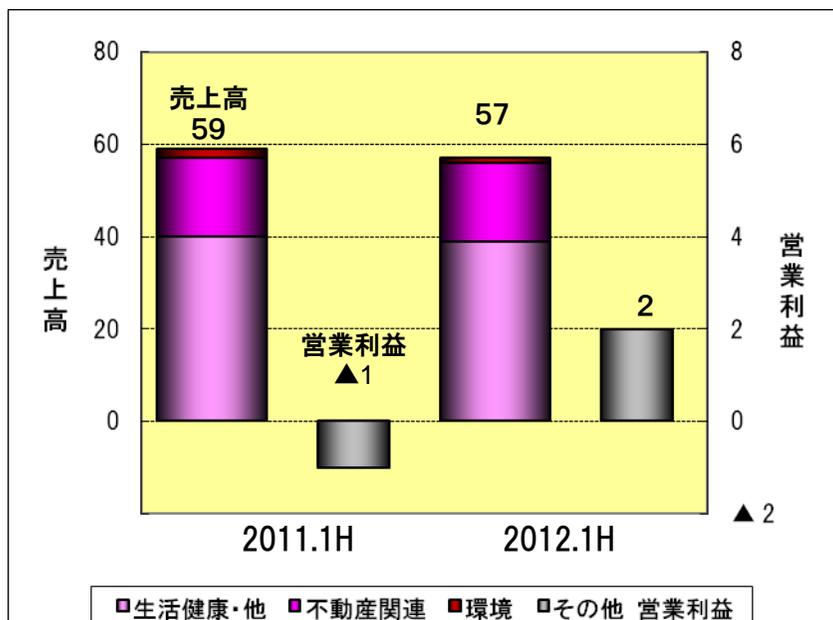
ユニフォーム分野は、好調な需要に支えられて堅調に推移。

スポーツ・レディス分野は、機能素材の拡充・事業の選択と集中が奏功。

海外など一部の子会社では、市況の影響を受け業績回復に遅れ。

生活健康は復調、不動産関連は計画どおり進捗

(金額単位:億円)	2011. 1H	2012. 1H	増減
その他 売上高	59	57	▲2
生活健康・他	40	39	▲1
不動産関連	17	17	▲0
環境	2	1	▲1
その他 営業利益	▲1	2	3



□その他
〔減収・増益〕

◆生活健康

飼料原料は猛暑の影響から受注が低迷。
食品原料はアラビノースの販売が好調。ラクトビオン酸の新規販売により回復基調。

◆メディカル

カテーテルは概ね堅調、酵素及び診断薬は低調に推移。

◆不動産関連

マンション販売は、計画どおり進捗。
当期は下期に竣工物件が集中。

◆その他

前年同期は環境事業に伴う一時費用の発生あり。

1. 2013年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2013年3月期通期業績予想

- ・2013年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・高分子事業の概要
- ・機能材事業の概要
- ・繊維事業の概要
- ・その他の概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

各施策のスピードアップ、見直し・追加により、予想値を達成する

(金額単位:億円)	2011年度 実績	2012年度 予想	前期比 増減
売上高	1,747	1,600	▲147
営業利益	96	60	▲36
経常利益	58	30	▲28
当期純利益	13	7	▲6

与件	当初	見直し
原油(\$/バレル)	110	105
為替(円/\$)	80	80

* 期中の為替変動には適宜対応し進捗をフォロー。

◆ 当期の事業環境として、世界経済の減速が強まっているとの見方もあり、厳しい状況はしばらく続くと考えられる。その前提の中で、当社グループは各施策のスピードアップと見直し・追加を積極的に行い、上期に伸び悩んだ販売数量を回復し、予想値を達成する。

- 主力のフィルム、樹脂、不織布の各事業については、新規開発品などで数量回復を図る。
- 収益減少の大きい事業については、一層のコストダウンなどで改善を図る。
- 下期型事業の収益を確保する。

セグメント別業績予想

(金額単位:億円)	売上高			営業利益			主な利益変動要因と下期の見通し
	2011年度 実績	2012年度 予想	前期比 増減	2011年度 実績	2012年度 予想	前期比 増減	
高分子事業	673	620	▲53	96	77	▲19	フィルムは在庫調整局面が終了し、販売数量は戻る。 樹脂は上期に収益減少、下期はアローベースなどの新規開発品の採用が更に進捗する見込み。
機能材事業	150	140	▲10	17	13	▲4	上期は工業分野などが低調。下期はコストダウン効果発現、ガラス繊維・ガラスビーズの一部用途で回復見込む。
繊維事業	767	685	▲82	7	▲2	▲9	衣料繊維は概ね堅調。下期型事業あり。 産業繊維はポリエステル短繊維、ビニロン繊維など苦戦が続く。
その他	156	155	▲1	8	9	1	不動産関連の収益伸長等。下期型事業あり。
消去・全社				▲33	▲37	▲4	
合計	1,747	1,600	▲147	96	60	▲36	

1. 2013年3月期第2四半期決算概要

- ・業績の概要
- ・営業利益変動要因分析
- ・資産・負債・純資産

2. 各事業セグメントの状況

- ・高分子事業の状況
- ・機能材事業の状況
- ・繊維事業の状況
- ・その他の状況

3. 2013年3月期通期業績予想

- ・2013年3月期通期業績予想
- ・セグメント別業績予想

補足資料

- ・トピックス
- ・事業構成
- ・高分子事業の概要
- ・機能材事業の概要
- ・繊維事業の概要
- ・その他の概要
- ・トップシェア・シェア優位事業

ユニチカ復興地域再生支援チーム



東日本大震災の復興支援を目的に、グループ企業、事業部の力を結集し、「復興地域再生支援チーム」を2012年9月に立ち上げ。

不織布や産業資材、繊維、環境調査・計測などの各分野でこれまで蓄積してきた技術や実績を活かし、瓦礫や廃棄物処理、除染に役立つ製品のご提案、放射線計測などの事業を展開。

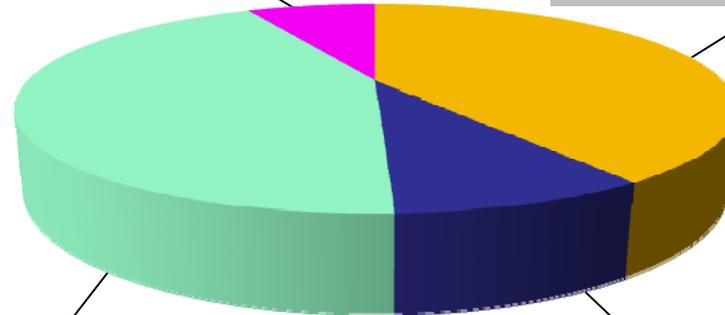
その他（売上高構成比 7 %）

- ◆生活健康 医用材料
健康補助食品 等
- ◆不動産関連
- ◆その他 設備技術
情報システム
環境分析 等

高分子事業（売上高構成比 40 %）

- ◆フィルム ナイロンフィルム
ポリエステルフィルム
- ◆樹脂 ナイロン樹脂
ポリエステル樹脂
ポリアリレート樹脂
- ◆不織布 ポリエステルспанボンド
綿спанレース

2012年度1H
売上高
762億円



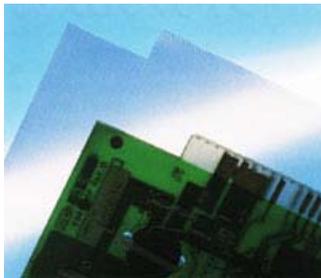
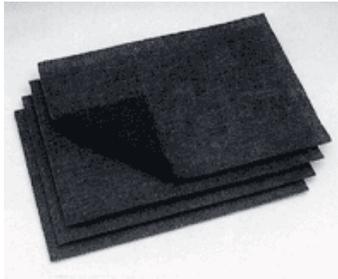
繊維事業（売上高構成比 43 %）

- ◆産業繊維 ポリエステル高強力糸
ポリエステル短繊維
ビニロン繊維 等
- ◆衣料繊維 ユニフォーム
一般・婦人衣料素材
スポーツ衣料素材 等

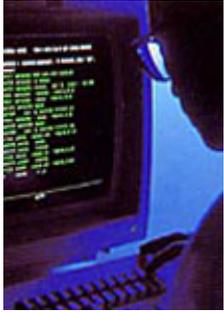
機能材事業（売上高構成比 9 %）

- ◆ガラス繊維
- ◆ガラスビーズ
- ◆活性炭繊維

	フィルム	樹脂	不織布
主要 製品 (用途)	<p>包装</p>  <p>工業</p> 	 <p>自動車 部品</p>   <p>精密機器</p>	 <p>カーマット基布</p>  <p>農業用被覆材</p>  <p>生活雑貨</p>
	<p>◇ナイロンフィルム ◇ポリエステルフィルム</p>	<p>◇ナイロン樹脂 ◇ポリエステル樹脂 ◇ポリアリレート樹脂</p>	<p>◇ポリエステルспанボンド ◇綿спанレース</p>

	ガラス繊維	ガラスビーズ	活性炭繊維
主要 製品 (用途)	 <p>車両電照カバー</p>  <p>ICクロス (プリント基板用)</p>  <p>産業用ガラスクロス</p>	 <p>ロードマーキング</p>	 <p>活性炭繊維フィルター</p>

	産業繊維	衣料繊維
<p>主要 製品 (用途)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>産業資材用 ポリエステル 繊維</p>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>ビニロン繊維 (セメント補強用途)</p> </div> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ユニフォーム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>スポーツ衣料</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>婦人衣料</p> </div> </div>
	<p>◇ポリエステル高強力糸 ◇ポリエステル短繊維 ◇ビニロン繊維</p> <p style="text-align: right;">等</p>	<p>◇ユニフォーム ◇一般・婦人衣料素材 ◇スポーツ衣料素材</p> <p style="text-align: right;">等</p>

<p>主要 製品 (用途)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>抗血栓性 カテーテル</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>創傷被覆保護材 ベスキチン</p> </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>健康補助食品</p> </div>	<div style="text-align: center;">  <p>マンション事業</p> </div>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>ヒーティング システム</p> </div> <div style="text-align: center;">  <p>ソフトウェア設計</p> </div> </div>
	<p>◇生活健康 医用材料、健康補助食品 等</p>	<p>◇不動産関連</p>	<p>◇設備技術 ◇情報システム ◇環境分析 等</p>

※シェアは当社推定

	製品	国内 シェア	主な用途	当社の強み
高分子	ナイロンフィルム	50%弱 (1位)	食品包装用 (世界シェア1位)	同時2軸延伸技術 クイックデリバリー
	ポリエステルспанボンド	40% (1位)	自動車内装、建築、土木 農業資材、衛生材料、生活資材	複合繊維化技術
	綿спанレース	60% (1位)	衛生材料、生活雑貨	バインダーレス 天然素材の風合い
	ポリアリレート樹脂	当社独自	自動車部品、電気・精密機器部材	耐熱性・透明性
機能材	ガラスクロス(産業用)	30% (2位)	フィルター素材、FRP用、建築 土木資材	製織・製織技術
	ガラスビーズ	35% (2位)	各種反射材、工業用ビーズ	商品の品揃え
繊維	ポリエステル短繊維(バインダー)	60% (1位)	建材、家具、自動車内装向け不織布原料	複合繊維化技術

ご注意

本資料中の予想は、現時点における将来の経済環境予想等の仮定に基づいております。実際の業績は、今後の種々の要因によって異なる結果となる可能性があります。